

九鬼拓也さん・柴山慶子さん・高橋俊弥さん・西木浩志さん・横田直哉さん（自然科学研究科・博士前期課程 2 年）が公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター主催のまちづくり・都市デザイン競技で奨励賞を受賞しました。

公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター主催の第 25 回まちづくり・都市デザイン競技において、大学院自然科学研究科 環境科学専攻 社会基盤・建築学コース（建築系）博士前期課程 2 年の九鬼拓也さん・柴山慶子さん・高橋俊弥さん・西木浩志さん・横田直哉さんが提案した「US の宇都宮」が奨励賞を受賞しました。

まちづくり・都市デザイン競技は、国土交通省が毎年 6 月 1 日から 30 日に実施している「まちづくり月間」行事の関連行事として毎年実施されているもので、2022 年度は栃木県宇都宮市が設計の対象地でした。

全国から 43 グループ（学生グループ 13、社会人グループ 30）の作品提出があり、国土交通大臣省や奨励賞などに 6 作品が選定されています。大成建設や三菱地所設計などの企業グループの名前が並ぶ中、新潟大学のグループは学生グループとして唯一の受賞でした。作品は宇都宮駅前地区の将来像と整備手法を提案するもので、人中心の空間形成に向けたアイデアの豊かさや川沿いの空間デザインの質を高く評価していただきました。

参考：【第 25 回（2022 年）受賞作品〈栃木県宇都宮市〉】

<https://www.udc.or.jp/publics/index/437/>